

製品・修理についてのお問い合わせ

■この取扱説明書の内容や、製品の取扱いについてご不明な点がございましたら、ご購入された販売店もしくは下記メールフォーム、製品に関するお問い合わせ先(0120-125577)にてお問い合わせください。

■修理は必ずご購入された販売店もしくは製品に関するお問い合わせ先(0120-125577)にお問い合わせください。

尚、修理をご依頼される前に、P.14の「こんなときは…」を見て故障かどうかを確認してください。

1)「保証書」の有無をご確認ください。

2)購入時にご記入、保管いただきました「保証書」に必要事項が記入されているか再度ご確認ください。

3)本製品と「保証書」をキャリングケースおよび運送用外箱に入れ、ご購入された販売店にお持ちいただくか、製品に関するお問い合わせ先(0120-125577)へご依頼ください。

製品に関するお問い合わせは

✉ <https://jpn.tajimatool.co.jp/inquiry>



TEL 0120-125577

受付時間：
月曜日～金曜日 9:00～17:00
(12:00～13:00/祝日・当社指定休日を除く)

株式会社TJMデザイン

本社/〒174-8503 東京都板橋区小豆沢3-4-3
www.tajimatool.co.jp

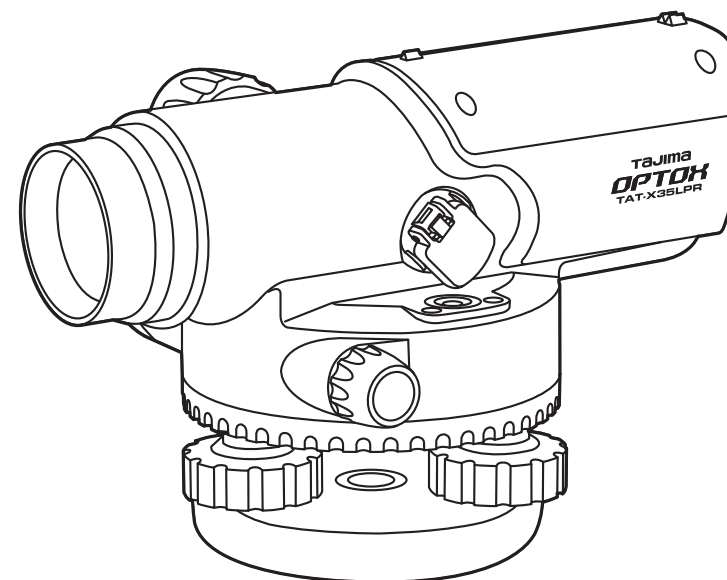
保管用 第1版
57301

Tajima

ご使用前に必ずお読みください。

タジマオートレベル35倍 レーザーポイント付

品番 TAT-X35LPR 取扱説明書



本製品を正しくお使いいただくために

このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

- この取扱説明書は、実際に本製品を操作しながらお読みください。
常に適切な取扱いと、正しい操作でご使用くださいますようお願いいたします。
- ご使用前には、機器本体、付属品全てがそろっているかご確認ください。
- 本書の内容は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書のイラストは、説明を分かりやすくするために、実際とは多少異なる表現がされている場合があります。
あらかじめご了承ください。
- お読みになった後、この取扱説明書は必ず保管してください。

もくじ

●安全上のご注意

●仕様

●各部の名称および同梱品

●使用方法

●点検方法

●お手入れ・保管方法

●こんなときは・・・

●製品・修理についてのお問い合わせ

----- 2

----- 4

----- 5

----- 6

----- 6

----- 7

----- 7

----- 8

----- 9

----- 9

----- 10

----- 11

----- 11

----- 12

----- 12

----- 13

----- 13

----- 14

----- 15

安全上のご注意

安全にお使いいただくための重要な内容です。全てをよくお読みの上、指示に従い正しく使用してください。

【免責事項】

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証・黙示の保証を含め、一切保証しません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 純正品以外の組合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、弊社は一切責任を負いません。

【表示の説明】

 危険	死亡または重傷を負う可能性が高い内容です。
 警告	死亡や傷害を負う可能性がある内容です。
 注意	軽傷や財産の損害が発生する可能性がある内容です。

危険

機器本体、付属品について

- 望遠鏡で太陽を絶対に見ないでください。太陽観測に使用しないでください。失明や視力障害の原因になります。
- 望遠鏡で反射プリズムなど反射物からの太陽光線を見ないでください。失明や視力障害の原因になります。
- 望遠鏡で（建築・工事現場、工場などにおいて）直接レーザー光を見ないでください。失明や視力障害の原因になります。
- 付属の錘球を振り回したり、投げたりしないでください。人に当たり、ケガをする恐れがあります。

スタッフ（標尺）、金属製ロッド、それら相当品について

- 雷が発生する天候下では使わないでください。スタッフ、金属製ロッド、およびそれら相当品は導電体ですので落雷を受けて死傷する恐れがあります。

警告

機器本体、付属品について

- 本製品はレーザー光を出射します。レーザー安全基準(JIS C6802:2011)のクラス1に準拠していますが、以下に記載する内容には十分注意してご使用ください。
 - ・幼児や子供、操作方法の分からない人の手の届く場所には保管しないでください。
 - ・光学機器で直接レーザー光を見ないでください。望遠鏡やルーペなどでレーザー光を直接見ると危険です。
 - ・レーザー光を直接のぞかないでください。
 - ・レーザー光路は眼の高さを避けてください。
 - ・レーザー光路に立ち入らないようにしてください。
 - ・レーザー光路に反射物を置かないでください。
 - ・レーザー光を他の人に向けしないでください。
- ☞ レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。障害が疑われる場合は速やかに医師の診断を受けてください。

- 火中に投じないでください。
- 使い切った電池は必ず本製品から取出してください。
- 電池の液が目に入った時は、失明や障害を受ける可能性があるため、すぐに水で洗い流し医師の治療を受けてください。
- 本製品をキャリングケースに入れて持ち運ぶときは、必ずケースのバックルを確実に締めてください。本体が落下してケガをする恐れがあります。
- キャリングケースのバックル・ベルトが傷んでいたら本製品を収納しないでください。ケースや本製品が落下して、ケガをする恐れがあります。
- キャリングケースを踏み台にしないでください。すべりやすく不安定です。転げ落ちてケガをする恐れがあります。
- 幼児または子供の手の届かないところに保管してください。落下、破損、付属品の誤飲などケガをする恐れがあります。
- 絶対に分解や改造をしないでください。
- 本製品を三脚に取付けたまま使わないときは、レンズキャップを付けて太陽光の当たらないところに保管してください。太陽光が焦点を結び、火災の原因となる場合があります。
- 移動するときは必ず三脚から本製品を取外してください。

三脚について

- 三脚使用前には各部の点検を行ってください。
- 本製品を三脚に固定するときは、定芯桿（ていしんかん）を確実に締めてください。不確実だと機械が落下して、ケガをする恐れがあります。
- 三脚を立てるときは、脚元に人の手・足がないことを確かめてください。手・足を突き刺して、ケガをする恐れがあります。

⚠ 注意

機器本体、付属品について

誤測定の原因となります。以下の内容に注意してご使用ください。

- 使用前使用後には必ず精度確認をしてください。詳しくは「点検方法」をご覧ください。
- 故障したまま、本製品をお使いにならないでください。すぐに使用を中止して、ご購入された販売店もしくは、製品に関するお問い合わせ先（0120-125577）に修理をご依頼ください。詳しくは「製品・修理についてのお問い合わせ」をご覧ください。
- 強いショックをあたえないでください。本製品を倒したり、落としたりしないでください。衝撃や振動が加わった場合は精度確認を行ってください。
- 雨中では使用しないでください。誤測定の原因となります。
- 濡れたり汚れたまま使用しないでください。対物レンズや接眼レンズに水滴や汚れが付着していると、暗く見えたり、精度不良が発生する場合があります。その場合、使用を中止して水滴・汚れをよく拭き取り、レンズは柔らかいきれいな布で汚れを落としてください。
- アルカリ乾電池・ニッケル水素充電電池以外は使用しないでください。
- 以下の注意を守らないと、電池の液漏れ、発熱、破裂、発火等の原因となることがあります。
 - ・電池の仕様表示に従って正しく使用してください。
 - ・電池は必ず＋／－の方向を正しく入れてください。
 - ・新旧の電池、異なる種類・ブランドの電池は混用しないでください。
 - ・使用後は必ず消灯してください。
 - ・長期間使用しないときは電池を取出して保管してください。
 - ・電池残量が少なくなると、残量警告（点滅）が行われます。新しい電池と交換してください。
- 本製品は -15℃～45℃ の範囲でご使用ください。指定範囲外の温度で使用すると故障および誤測定の原因となる場合があります。
- 結露したままお使いにならないでください。その場合、結露が取れるまで放置してください。
- 本製品を直接土の上に置かないでください。ネジ部を傷める原因となります。
- 運搬する場合は、専用のキャリングケースに入れてください。ケース収納時も衝撃や振動をあたえないでください。また、修理など荷物として送る場合は輸送用外箱に入れてお送りください。
- 付属品類は、運搬中に移動しないようにキャリングケース内の所定の位置に納めてください。

仕様

TAT-X35LPR

望遠鏡部	
全長	227mm
像	正像
有効径	42mm
倍率	35倍
視野(100m)	1° 25′ 55″ (2.5m)
分解力	3.5″
焦点板十字線	くさび形
最短合焦距離	0.5m(望遠鏡中心部より)
スタジア乗数、加数	100、0

水平目盛盤	
直径	110mm
最小読取值	1°

自動補正機構	
範囲	±15′

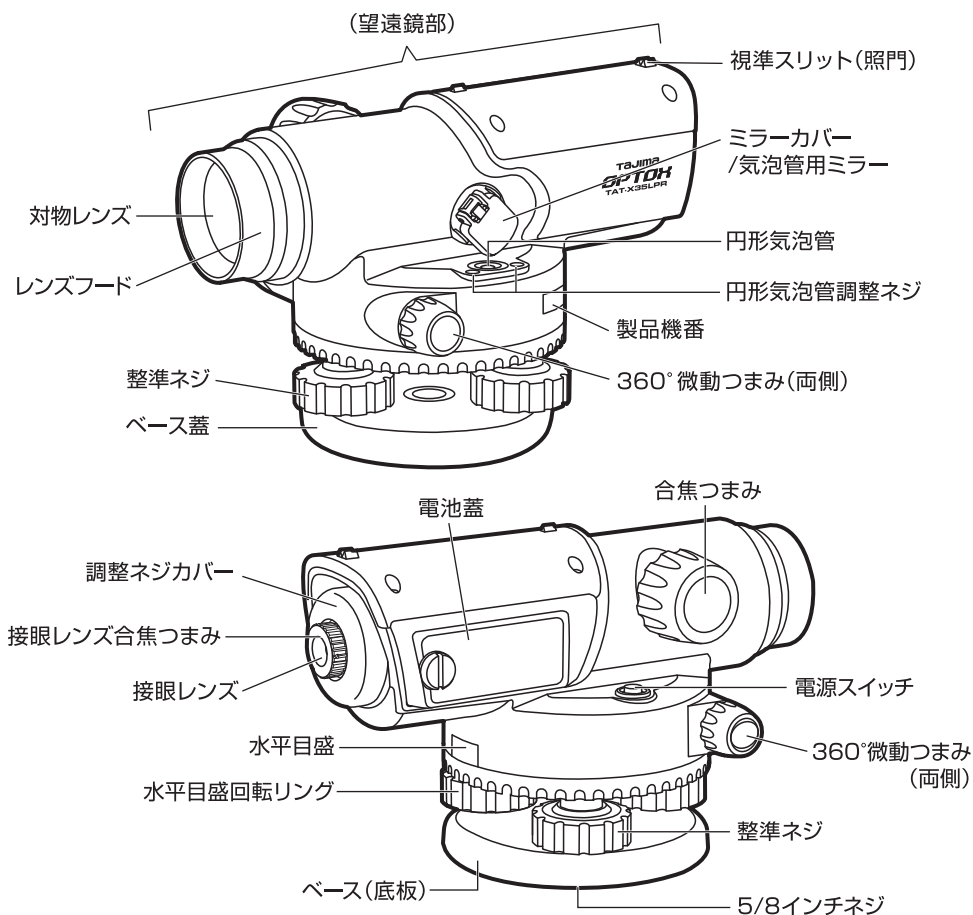
円形気泡管	
感度	10′/2mm

レーザーポイント	
出射光光源	可視光半導体レーザー
波長	635nm
レーザー安全基準	クラス1
精度	視準軸に対して30″以内
ポイント径	10m先でφ10mm以内
連続使用時間	約13時間
電源	単4形アルカリ乾電池2本 ニッケル水素充電電池(Ni-MH) 使用可
電池寿命警告	レーザーポイント光 および気泡管LED点滅

1km往復標準偏差	2.0mm
防塵・防水性能	IP66
使用温度範囲	-15℃～45℃
保存温度範囲	-20℃～60℃
寸法(タテ×ヨコ×タカサ)	227mm×135mm×139mm
質量(電池込み)	1.72kg

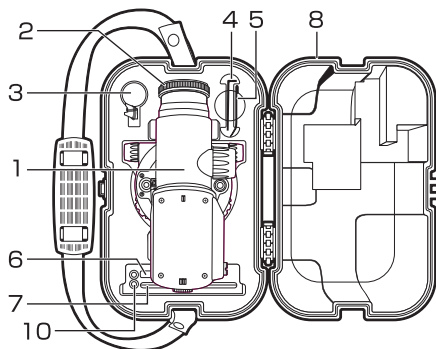
製品の仕様は、改良のため予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

各部の名称および同梱品



同梱品

1. 機器本体
2. レンズキャップ
3. 錘球
4. 六角棒レンチ
5. 十字線調整ピン
6. レンズクロス
7. 取扱説明書
8. キャリングケース
9. 保証書
10. 単4形乾電池2本 (動作確認用)



9. 保証書(個装箱外側に添付)
※必ず登録を行ってください。

製品の外観および付属品内容は、改良のため予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

使用方法

⚠ 注意

- 三脚は各部の点検を行ってから使用してください。
- 必ず円形気泡管の気泡を指標線の中に入れて使用してください。
- 定期的に気泡管の精度点検を行ってください。
☑正しい精度のオートレベルは気泡が指標線の中に入っていれば自動補正機構により水平が保たれます。

■電源の準備

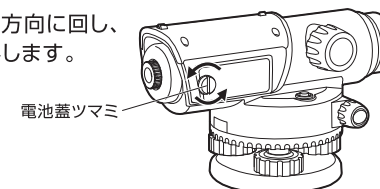
⚠ 警告

- 本製品を火中に投じないでください。
- 使い切った電池は必ず本製品から取出してください。放置すると液漏れやガスが出て破裂することがあります。

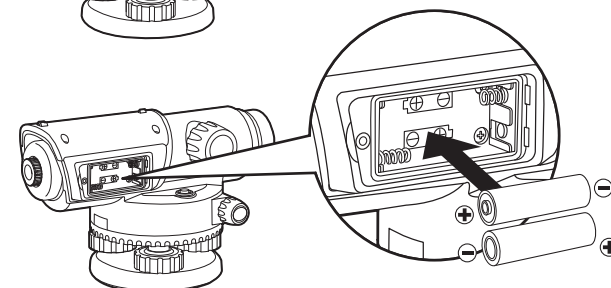
⚠ 注意

- アルカリ乾電池、ニッケル水素充電電池以外は使用しないでください。
- 以下の注意を守らないと、電池の液漏れ、発熱、破裂、発火等の原因となることがあります。
 - ・電池の仕様表示に従って正しく使用してください。
 - ・電池は必ず+/−の方向を正しく入れてください。
 - ・新旧の電池、異なる種類・ブランドの電池は混用しないでください。
 - ・使用後は必ず消灯してください。
 - ・長期間使用しないときは電池を取出して保管してください。
 - ・電池残量が少なくなると、残量警告(点滅)が行われます。新しい電池と交換してください。

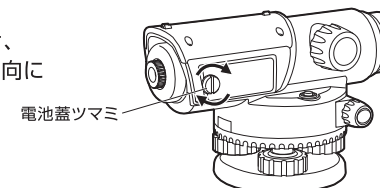
- ①電池蓋ツマミを反時計方向に回し、電池蓋を本体から取外します。



- ②新しい単4形アルカリ乾電池またはニッケル水素充電電池2本を右図の通りに極性を合わせて正しく取付けます。



- ③電池蓋を本体に取付け、電池蓋ツマミを時計方向にしっかりと回します。



■機器本体の据え付け

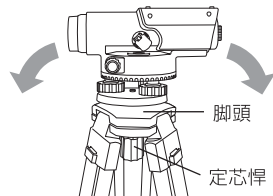
- ① 三脚の脚を伸ばし、等間隔に開いたときにオートレベルがのぞきやすい高さで三脚の脚固定ネジを仮締めします。



- ② 三脚を開いて石突きを踏みこんで、脚をしっかりと地面に固定します。



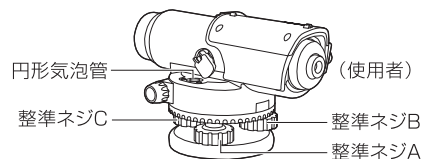
- ③ 脚頭がほぼ水平になるように三脚の脚長で調整します。三脚の脚固定ネジをしっかりと締めます。
- ④ 脚頭に本製品を載せ、定芯桿(ていしんかん)で固定します。球面三脚の場合は定芯桿を少し緩め、本製品を脚頭上ですべらせて円形気泡管の気泡が中央にくるようにします。



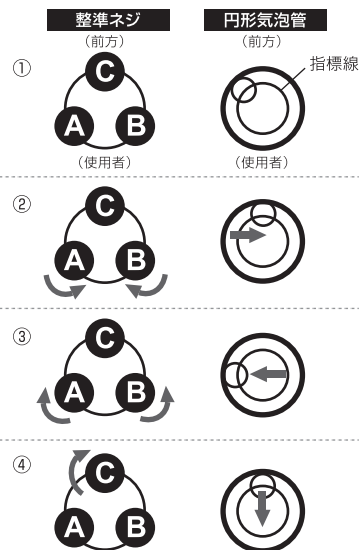
- ⑤ 定芯桿をしっかりと締めて固定します。

■機器本体を水平にする(気泡管を合わせる)

整準ネジを回して、気泡を指標線の中央に入れます。



- ① 整準ネジの位置が右図となるように配置します。気泡の位置は例です。
- ② 整準ネジA・Bを一緒に右図の矢印方向に回すと気泡は右へ動きます。
- ③ 整準ネジA・Bを一緒に右図の矢印方向に回すと気泡は左へ動きます。
- ④ 気泡が左右の中央にきたら、整準ネジCを回し指標線の中央に入るように調整します。整準ネジCを右図の矢印方向に回すと気泡は下へ動きます。



■ピント合わせ



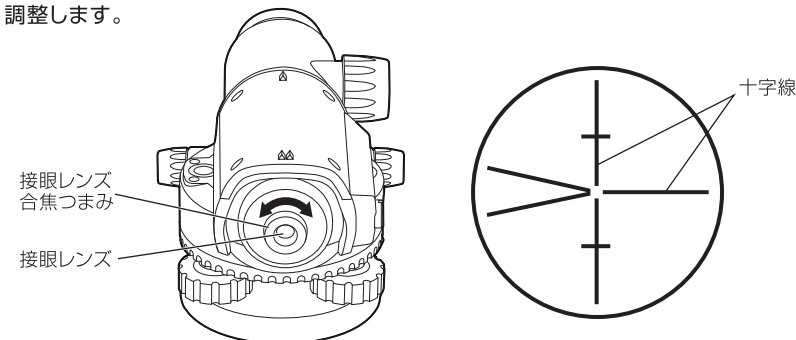
危険

- 望遠鏡で太陽を絶対に見ないでください。太陽観測に使用しないでください。失明や視力障害の原因になります。
- 望遠鏡で反射プリズムなど反射物からの太陽光線を見ないでください。失明や視力障害の原因になります。
- 望遠鏡で(建築・工事現場、工場などにおいて)直接レーザー光を見ないでください。失明や視力障害の原因になります。

本製品のピント合わせには1.)接眼レンズのピント合わせと2.)対物レンズのピント合わせがあります。

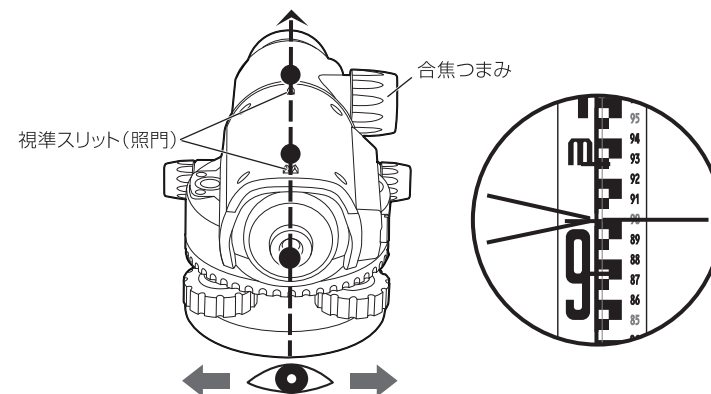
1.) 接眼レンズのピント合わせ

- ① 機器本体を白い壁など明るい背景、または白いシートなどに向けます。
- ② のぞいた時の十字線が黒くはっきりと見えるように接眼レンズ合焦つまみを回して調整します。



2.) 対物レンズのピント合わせ

- ① 「視準スリット(照門)」*を使って、対物レンズをスタッフ(標尺)や目標物に向けます。*おおよその目安としてご使用ください。
- ② 接眼レンズを通してのぞき、スタッフの目盛や目標物がはっきりと見えるように合焦つまみを回して調整します。



- ☞ 望遠鏡をのぞきながら目を少し上下左右に振ってみます。スタッフと十字線が相対的にズレなければ測定準備完了です。ズレる場合は、1.) 2.)をもう一度やり直してください。
- ☞ 十字線のピントが合っていないかったり、ズレたままの状態で行うと、測定値に誤差が生じます。ピント合わせはしっかり行ってください。

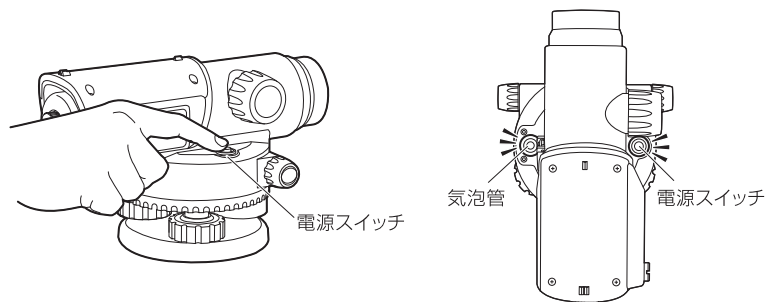
■レーザーポイント光の点け方

⚠ 警告

- 幼児や子供、操作方法の分からない人の手の届く場所には保管しないでください。
 - 光学機器で直接レーザー光を見ないでください。望遠鏡やルーペなどでレーザー光を直接見ると危険です。
 - ・レーザー光を直接のぞかないでください。
 - ・レーザー光路は眼の高さを避けてください。
 - ・レーザー光路に立ち入らないようにしてください。
 - ・レーザー光路に反射物を置かないでください。
 - ・レーザー光を他の人に向けしないでください。
- ☞ レーザー光を連続して見ると、視力障害を起すことがあります。障害が疑われる場合は速やかに医師の診断を受けてください。

① 電源スイッチを押すと、レーザーポイントが点灯します。

レーザーポイント点灯中は、電源スイッチ部と気泡管部の LED が点灯します。



② レーザーポイント ON の時に電源スイッチを押すと、レーザーポイントと各 LED が消灯します。

※ 電池残量が少なくなると、レーザーポイントと各 LED が 30 秒間点滅してから消灯します。
新しい電池に交換してください。

■レーザーポイント光の利用方法

- ターゲットにレーザーポイント光を照射して、レーザーポイント光を小さく絞ると素早くピントを合わせる事ができます。(合焦つまみでレーザーポイント光の径を調整できます。)
- 相番作業で受け手側で視準位置を確認する事ができます。
- 離れた位置でのレベル墨の移設に利用できます。

Point

- ☞ 日中屋外ではレーザーポイント光は見えづらくなります。その場合、
- ・ 曇天の日や夕暮れ時など環境や時間帯をずらして使用する
 - ・ ターゲット側が日陰になるようにする
- など工夫してご使用ください。

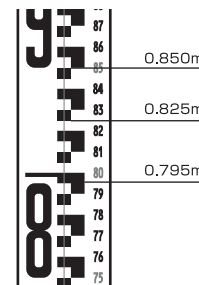
■用途

⚠ 危険

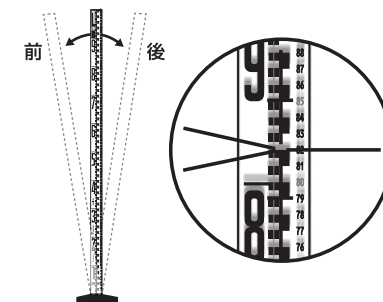
- 望遠鏡で太陽を絶対に見ないでください。太陽観測に使用しないでください。失明や視力障害の原因になります。
- 望遠鏡で反射プリズムなど反射物からの太陽光線を見ないでください。失明や視力障害の原因になります。
- 望遠鏡で(建築・工事現場、工場などにおいて)直接レーザー光を見ないでください。失明や視力障害の原因になります。

1.) 高さの測定

① スタッフを視準して十字線(水平線)部の目盛を読みます。

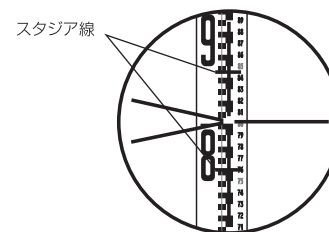


② スタッフを前後に動かし(ウエービング)一番低い目盛値(=垂直になっている)を読みます。



2.) 距離の測定

① スタッフを視準して、上下のスタジア線に挟まれた長さ(ℓcm)を読みます。



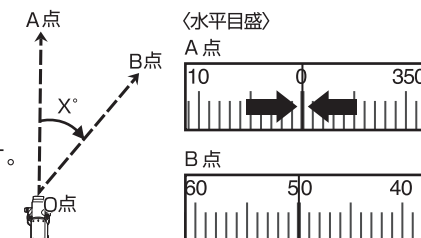
② スタッフで測定したℓcmの値(cm)がそのまま機器本体からスタッフまでの距離(m)になります。

【例】読取値が20cmの場合、機械からスタッフまでの長さは20mとなります。
距離(m) = (ℓcm) × スタジア乗数(100)

☞ 距離の値は目安です。確認用としてのみご使用ください。施工には使用しないでください。

3.) 水平角の測定

- ① 本製品のある0点から目標A点を視準します。
- ② 水平目盛の回転リングを使い、目盛を0(ゼロ)に合わせます。
- ③ 次に望遠鏡部を回転させて目標B点を視準します。
- ④ 水平目盛の値を読み、水平角を測定します。



☞ 水平目盛は時計回りに角度がふられています。読取間違いを防ぐためには向かって左から右へ視準してください。

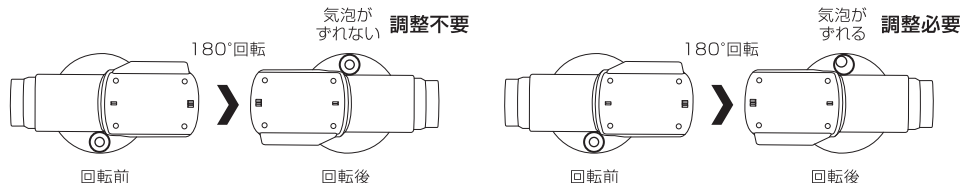
☞ 角度の値は目安です。確認用としてのみご使用ください。施工には使用しないでください。

点検方法

タジマオートレベル 35 倍レーザーポイント付は工場出荷時に厳密に調整されていますが、輸送時や乱暴な取扱いで強い衝撃を受けると、精度が狂う場合があります。正しい測定結果を得るために、ご使用前には必ず各部の点検を行い、本製品が正常に作動していることを確認してください。

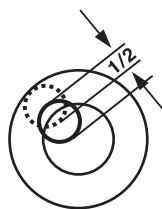
■円形気泡管の点検

- ①整準ネジで気泡を指標線の中心に入れます。
- ②望遠鏡部を180°回転させます。このとき、気泡が指標線の中心にあれば調整の必要はありません。

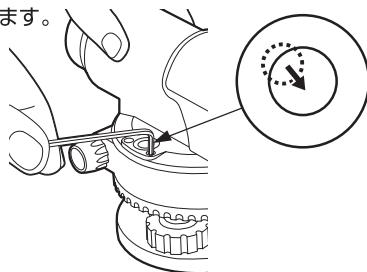


- ③気泡が指標線の中心にない場合は④～⑥の調整を行ってください。

- ④整準ネジでズレ量の半分を戻します。



- ⑤④のズレ量の半分を付属の六角棒レンチを使い、円形気泡管調整ネジを回して、指標線の中心に気泡を入れます。



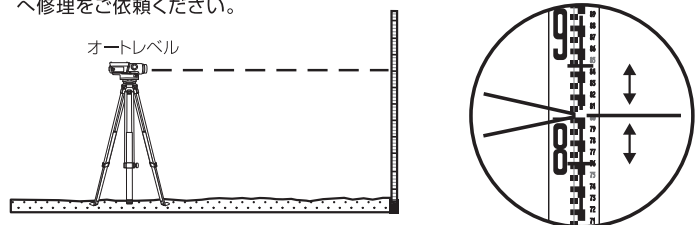
- ⑥再度望遠鏡部を180°反転して、気泡がズレなければ調整完了です。

☞ まだズレが残っている場合には④～⑥の手順を繰り返して気泡が指標線の中央にくるようにしてください。

■自動補正機構の点検

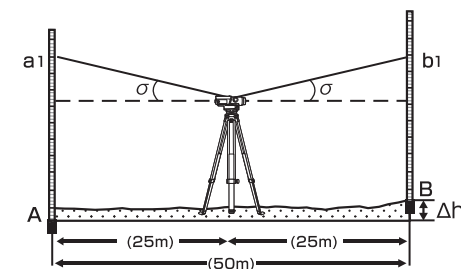
- ①本製品を三脚に取付け、気泡管を確認して水平にします。
- ②スタッフにピントを合わせて、十字線でスタッフの値を読みます。
- ③三脚の脚や本製品を軽くたたきます。
- ④一瞬、背景がズレますが、直ぐに戻ります。再度スタッフの値を読み元の数値であれば正常です。

☞ 元の数値に戻らない場合は、ご購入された販売店もしくは製品に関するお問い合わせ先 (0120-125577) へ修理をご依頼ください。

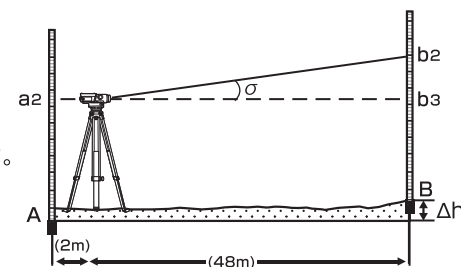


■十字線の点検(視準線の水平精度)

- ①スタッフを2本準備します。
- ②平らな場所で約30m～50m離れた位置にスタッフA・Bを垂直にしっかりと固定し、その中央にオートレベルを設置します。
- ③本製品を水平にしてスタッフのa1・b1の値を読み取ります。このときのA・B地点の高低差は $a1 - b1 = \Delta h$ となります。



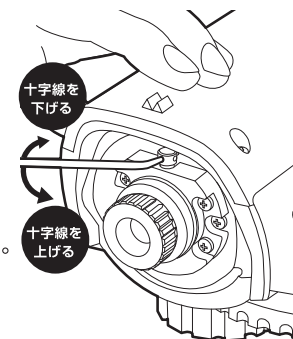
- ④スタッフの位置はそのままに、本製品をA点のスタッフから約2m離れた位置に移動します。
- ⑤スタッフA・Bの値を読みます。
- ⑥ $[(a1 - b1) - (a2 - b2)] < 3\text{mm}$ ならば正常です。



☞ $[(a1 - b1) - (a2 - b2)] < 3\text{mm}$ とならない場合は⑦～⑩の調整を行ってください。

☞ ③の図で本製品はスタッフA・Bの中間に配置されています。十字線に狂いがある場合は、どちらのスタッフの読み値も同じ量の狂いとなり、高低差の値には影響しません。b3の値は $a2 - \Delta h$ となり、これが十字線の必要な調整量となります。

- ⑦調整ネジカバーを開きます。
- ⑧付属の十字線調整ピンを使って、
 $[(a1 - b1) - (a2 - b2)] < 3\text{mm}$ になるまで調整します。
・十字線を下げる場合は調整用ネジを時計方向に回します。
・十字線を上げる場合は調整用ネジを反時計方向に回します。
- ⑨調整後は①～⑥の手順で
 $[(a1 - b1) - (a2 - b2)] < 3\text{mm}$ となることを確認してください。
- ⑩調整終了後、調整ネジカバーを閉じます。



■レーザーポイント光の点検(レーザーポイント光の水平精度)

- ①上記「十字線の点検」同様の作業をレーザーポイント光に対して行います。
- ②この時にレーザーポイン光の照射位置が
 $[(a1 - b1) - (a2 - b2)] < 7\text{mm}$ ならば正常です。

☞ $[(a1 - b1) - (a2 - b2)] < 7\text{mm}$ とならない場合は販売店もしくは製品に関するお問い合わせ先 (0120-125577) までご連絡ください。

☞ レーザーポイント光が見えづらい場合は屋内の環境で確認をしてください。

お手入れ・保管方法

■機器本体・付属品について

- 測定終了後、キャリングケースへ収納する際は必ず機械各部の清掃をしてください。特にレンズは付属のきれいなレンズクロスで軽く拭いてください。レンズの汚れがひどい場合はエアブローなどで汚れを飛ばしてから、付属のきれいなレンズクロスで軽く拭いてください。
- 本製品の汚れがひどい場合、水または薄めた中性洗剤に浸したやわらかい布を固く絞って汚れを拭き取ってください。アルカリ性洗剤や有機溶剤は使用しないでください。
- 必ず専用のキャリングケースに入れて保管してください。
- 作業中、雨がかかった場合は水分を良く拭き取ってからキャリングケースに収納してください。
- キャリングケース内も土・埃などが溜まったままとならないように清掃してください。
- 本製品や付属品の保管場所として、次のような場所には置かないでください。
 - ・炎天下の直射日光下や暖房器具の近くなど高温になるところ
 - ・冬の屋外などの低温になるところ
 - ・急激な温度変化のあるところ
 - ・湿度の高いところ
 - ・磁気を帯びたところ
 - ・振動の多いところ
 - ・子供の手が届くところ
- 本製品の回転部分、ネジ部分に異物が入ったと思われる時や、望遠鏡内部に水滴の痕やカビ等を発見した時は、すみやかにご購入された販売店もしくは製品に関するお問い合わせ先（0120-125577）までご連絡ください。
- 常に高い精度を保持するため、年間1～2回の定期点検、検査をお勧めします。その際は、ご購入された販売店もしくは製品に関するお問い合わせ先（0120-125577）までご連絡ください。

■三脚について

- 三脚は、長期間使用すると石突き部のゆりみ・脚固定ネジの破損などが原因でガタが生じる場合があります。時々各部の点検・締め直しを行ってください。

こんなときは・・・

トラブルの状況	確認項目
接眼レンズを覗いても十字線が見えない	白い壁などに本製品を向けて、接眼レンズ合焦つまみで調整をしてください。（P.8参照）
接眼レンズを覗いても対象物が見えない	・レンズキャップが取付けたままになっていないか ・合焦つまみを使ってピントが正しくあっているか確認してください。（P.8参照）
レーザーポイント光が見えない	・レンズキャップが取付けたままになっていないか ・合焦つまみを使用しピントが正しく合っているか確認してください。 接眼レンズから覗いた時は見えないのが正常です。
電源がONにならない	・電池が入っているか ・電池の向きは合っているか ・電池が消耗していないか
製品を傾けると音がする	オートレベルは構造上、製品を傾けると音がします。但し、ゆっくりと左右に製品を傾けた際に、内部で部品が転がっているような場合は製品に関するお問い合わせ先（0120-125577）へお問い合わせください。
精度がズレている気がする	①円形気泡管の気泡が指標線内に入っているか確認してください。（P.11参照） ②円形気泡管が狂っていないか確認してください。（P.11参照） ③自動補正機構、十字線の点検をして正常な状態であるか確認してください。（P.11、P.12参照）
接眼レンズを覗くと対象物が青く見える	レーザーポイント光の戻り光を防ぐ光学フィルタがかかっているため青みがかって見えるのが正常です。

上記の対応を行っても症状が改善されない場合は、ご購入された販売店もしくは製品に関するお問い合わせ先（0120-125577）まで修理をご依頼ください。